令和８年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

１	プログラム名	赤十字防災セミナー
２	実施社会福祉協議会	川島町社会福祉協議会
３	協力団体	日本赤十字社埼玉県支部・川島町赤十字奉仕団
４	活動年月日	令和８年８月１９日（水）
５	活動場所	川島町役場　大会議室
６	内容	ひなんじょたいけん・新聞紙スリッパづくり
７	活動の様子	

避難所運営シミュレーションゲーム「ひなんじょたいけん」



実際の避難所運営を図面上で疑似体験するシミュレーションゲームを 5~6 人のグループワーク形式で実施しました。



今までやらないような防災のプログラムに参加して、避難所は自分で動いて生活するところを考えないといけないことがわかりました。例えば、足が不自由な方は出口付近で生活したり、ペットはアレルギーの人もいるから外にいることにしたり、病気を発症している方は違う部屋で過ごしたりして場所を考えることが大切なのが分かりました。防災以外にも、会場の受付案内もしました。案内は凄く人がいて、一緒に案内した人としっかりと「受付あちらです」と言えたのでよかったです。これから災害があったとしても、今日学んだことを活かしていきたいです。







「熊本地震災害義援金」の呼び掛け

熊本地震の義援金募金に携わらせていただき、普段の生活ではなかなか経験できない活動をすることができました。また、今回のボランティアを通して、災害時の避難所運営についてカードゲームを通して学ぶことができました。このボランティアに参加したことで、災害支援について考える貴重な機会となりました。







お預かりした【義援金 29,207 円】は、
「日赤令和 8 年熊本地震災害義援金」へ全額送金いたしました。

令和８年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	手話サロン
2	実施社会福祉協議会	川島町社会福祉協議会
3	協力	渋谷　則子氏
4	活動年月日	令和８年７月 22 日（水）
5	活動場所	地域活動センターイースト
6	内容	手話にふれてみよう
7	活動内容	

手話に親しみ聴覚障がいへの理解を深めるとともに障がいの有無にかかわらず互いに支えあえる地域づくりを目指し実施しました。





まほうのことばを5名で手話歌♪
参加者として来ていただいた埼玉県聴覚障害者協会の西澤登志雄さん、鴻巣在住の荻原さん（ろう者）も自己紹介していただきました。



【ろう者体験】
文章をジェスチャーで伝える体験。
口の動きだけで読み取れるかな？
「伝えよう」「受けとめよう」。
コミュニケーションの基本は
気持ちが大切。



【参加者の声】

私はこのボランティアを通じて今まで知っていたこと以外に、新しく「ろう者」ということを知ることができました。ろう者とは聴覚障害者（聴こえない人・聴こえない子ども）のことをいうことがわかりました。名前の表し方でもいろいろな表し方があり興味をもつことができました。